

2021/8/26(木) 稲子岳 (2380m)

メンバー：L 辻、福田、小嶋、非会員 1 名

稲子岳はクライミングの山だと思っていたら、Mさんからファインディングルートで登頂でき、二重山稜の美しい景色が見られると誘われ不安に思いながらの山行である。

平日のためか駐車場はがら空き、唐沢鉱泉のすぐ近くに止められてラッキー。雨の日が続いていて待ちに待った久しぶりの山行。前夜に降った雨のせいか岩は滑り易く、黒百合ヒュッテまでの岩ごろの河原は湿度が高くて蒸し暑い。結構体力を奪われた。

中山峠から稲子岳への分岐はくさりを伝って激下り、南壁方面を目指して下降する。稲子岳方面の左側に緑色のロープが所々張られている。Mさんから「侵入口は左側にあるロープに注意するように」との指示。「もしかしてこれかな？」ロープに黄色の札がぶら下がっており、「注意、この先、稲子岩壁ルートにつき関係者以外侵入ご遠慮ください」とある。

まさにヤマレコの投稿にあった札だ。ロープをくぐりかすかな踏み後をたどって登っていく。倒木が行く手をふさぎ「どこへ行けばいい？」「右上の林目指して登るように」との指示。踏み後薄く、やぶ漕ぎしながら悪戦苦闘。何とか登山道らしき所をたどり稜線に出る。

視界が開け、瓦場の稲子ビーチが目の前に広がった。南壁の突き出た岩稜向いに天狗岳と硫黄岳の爆裂火口後が飛び込んできた。初めて見る裏側からの迫力ある景色に一同感嘆。

瓦場は白いオンタデが繁殖しており、コマクサはどこ？ やっと見つけた小さな株に色の薄いピンクの花 2 株。もうシーズンは終わりなのか、昔はコマクサが一面にあったとかで、オンタデに追いやられてしまったみたいだ。

イワツメクサ、イブキジャコウソウ、ツガザクラ、ヨツバシオガマ、トリカブトなど高山植物もいっぱい誰もおらず、涼やかな風、クジャク蝶が飛び交いのどかな、まったりした時間をのんびり過ごした。

ニューに向かうルートは途中で赤テープと踏み後が途絶え、おびただしい倒木と茂った松の枝で足元が見えず、ルート探しに苦労した。元来た所に戻り仕切り直し。あまり通る人がいないためか登山道は荒れ果てており、Mさんも「前はこんなではなかった」と嘆いていた。期待していた二重山稜も木が生い茂り、はっきりとは確認できず、ちょっと残念！

何とか薄い踏み後をたどりやっとたどり着いたニューは賑やかだった。緑の森に囲まれた白駒の池はいつ見ても神秘的。キアゲハが舞い、ここでお昼を食べのんびり過ごす。あんなに人がいたのに急に誰もいなくなり静かだった。

黒百合ヒュッテからピストンで下る予定だったが Mさんが「パノラマコースなら目を瞑っていても歩ける」と言うので分岐からパノラマコースを選択。苔むした美しい森はとても歩きやすい。くたびれた足にやさしくとても良かった。のんびり過ごし過ぎて遅れていた分を一気に挽回。Oちゃん、今日の下りはこの前と違って絶好調！ぎり、唐沢鉱泉の締め切り時間に間に合う。炭酸鉱泉につかり、大満足の充実した山行となった。

【コースタイム】 天気:曇り時々晴れ 山頂は風さわやか

唐沢鉱泉 6:30~8:30 黒百合ヒュッテ~中山峠~9:00 稲子岳分岐

09:55 稲子岳 大休憩 10:55 発 ~11:45 ニュウ 大休憩 12:15 発~

13:10 中山峠~13:20 黒百合ヒュッテ~14:00 分岐~パノラマコース~

14:50 唐沢鉱泉

ギンリョウソウ



稲子岳から見る硫黄岳と天狗岳



コメグサ



ここから稲子岳山頂へ



南壁の岩稜と硫黄岳の一部



コマクサ 色薄いね



マイズルソウ



イグジャコウソウの蜜を吸う孔雀蝶



コケモモの実



ヨツバシオガマ/ウメバチソウ



パノラマコースの美しい苔の森



ニューにて

